

令和8年7月24日(金)10時から11時、泉佐野市立児童発達支援センター理学療法室にて、泉佐野市在住の子育て中の保護者を対象に第1回発達のびのび講座を開催しました。小中学生、こども園児、未就園児の保護者18名の参加がありました。

第1回は、当センター所属の公認心理師から、『「学び方」について考える～認知特性と学習～』をテーマに講座をすすめました。

講座内容は、実際のエピソードや体験をもとに、情報の処理の仕方(認知)には一人ひとり違い(特性)があることや、学童期における学習内容の変化についてお話ししました。一人ひとり違いがあってもいいことを基本に、自己理解、他者理解をすることの重要性や、認知特性にあった環境を整えていくことの大切さについてお伝えしました。

「エピソードもあり分かりやすかったです。こどもに必要な支援を再確認し、客観的に考えることができました。」「自分はこの方法が良いと思って、こどもにさせていましたが、今後はこどもに聞いて合ったやり方をみつけていきたいと思いました。」「自分のこと、こどものことがよく分かりました。自分自身がどんな特性なのかも再確認でき学びになりました。」「日常に活かせることがたくさんありました。」といった感想をいただきました。

次回は、令和8年9月25日(金)10時から11時、泉佐野市立児童発達支援センター理学療法室にて、当センター所属の作業療法士から『「食べる」について考える～好き嫌いからマナーまで～』をテーマに第2回発達のびのび講座の開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

